

令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 52

千葉県立松戸向陽高等学校 全日制の課程 福祉教養科

1 期待する生徒像

中学校生活全般にわたり真面目な取組をし、基本的な生活習慣が身に付いている者で次のすべてを満たす者

- ア 向学心をもち、積極的に学習活動を行うこと。
- イ 福祉に対する興味・関心が高いこと。
- ウ ボランティア活動等に意欲的に取り組む強い意志があること。
- エ 福祉関連分野への進路希望が強く、介護福祉士の国家資格取得への意欲が高いこと。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：1名5分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点（各教科100点満点）の合計により評価する。

(2) 調査書 アの数値に、イ、ウ、エについて加点（上限70点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	①全教科の評定の合計値を算式1により求めた数値で評価する。 ②評定1のある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	①3年間皆勤の場合は、加点する。 ②年間の欠席が10日以上または3年間の合計が20日以上の場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	①〇の数に応じて加点する。 ②〇の数が1つ以下の場合、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録・部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、資格、ボランティア活動、その他の活動で、特に積極的に取り組んだと認められる記述について加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容については、参考とする。

(3) 面接検査〔40点満点〕

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a a～c c c）で得点化する。同一の評価項目でcの評価が、複数ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機	志望動機が明確かつ具体的に述べられており、その内容も適切である。
イ 入学後の抱負	入学後の抱負が明確かつ具体的で、強い活動意欲がみられる。
ウ 進路目標	将来の進路目標が具体的に述べられている。
エ 身だしなみ・態度	身だしなみが整っており、面接態度が優れている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

〈総得点の満点の内訳〉

学力検査の 成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	加点	面接	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	70点	40点	$(745 + \alpha - m)$ 点

（算式1） α ：県が定める評定合計の標準値95

m ：中学校評定合計平均値

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取り扱いをしない。

イ 入学許可候補者に内定した者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。